



つなかり



「文化財保護指導員等研修会」が開催されました

皆さんの身近にある「文化財」と呼ばれるものには、どのようなものがありますか。

文化財には、有形文化財・無形文化財・民俗文化財・記念物・文化的景観・伝統的建造物群など様々な区分があります。南予地方にも、右の表のように数多くの文化財があります。

これらの文化財について、随時、文化財の保存状態を巡視し文化財保護の考えを普及する活動を行っているのが「文化財保護指導員」です。南予管内では4名の方が、活動されています。

南予教育事務所では毎年、「南予管内文化財保護指導員等研修会」を開催しています。今年度は令和2年12月15日(火)、宇和島市の大森城、旧毛利家庄屋住宅を訪れ、参加者15名が文化財の歴史的意義や保存の取組について研修を深めました。

【南予地方にある文化財】

		国指定	選択のみ※	県指定
有形文化財	建造物	13		4
	絵画・彫刻・工芸品等	6		38
無形文化財			1	1
民俗文化財	有形民俗文化財	1		6
	無形民俗文化財	1	7	21
記念物	史跡	9		13
	名勝	1		4
	特別天然記念物	1		
	天然記念物	3		35
	文化的景観	3		
	伝統的建造物群	2		
埋蔵文化財包蔵地				41

※ 「選択」とは、記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財として文化庁長官が選択したもの
 上表は、愛媛県教育委員会文化財保護課のHPと南予教育事務所保存の文化財関係資料より作成



大森城に残る石垣



旧毛利家庄屋住宅の外観

大森城は戦国時代の山城跡で、登ってみると山頂から三間盆地を見渡すことができました。また、当時の貴重な石垣も残されていました。旧毛利家庄屋住宅の屋敷は約270年前の姿を残しており、保存会の方から、茅葺(かやぶき)屋根の修復の手立てや住民の交流の場として活用する様子について説明がありました。当時の人々の生活に思いをはせると同時に、現在まで引き継がれてきた文化財を、今後どのように生かし、残していくか考えなければならぬと感じました。

皆さんも、時代を経た古いものや美しいものを目にする心と心が和んだり、先人の技術、知恵に感動したりすることがあるのではないかと思います。そんな気持ちを大切にして、身近な文化財を知り、楽しみ、活用しながら守っていききたいものです。

支え合い 地域にいかす 文化財
 ~知って、まもって、活かしてつなぐ えひめの魅力~

「愛媛県文化財保護活用大綱(案)」より